



目標・希望・友達

令和7年6月18日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

学校だより第7号で「長崎県も梅雨入りとなりました。」と書きましたが、今後2週間の天気予報を見ると、傘マークはあまり見られません。梅雨の中休みでしょうか？ただし、連日夏のような暑さが続くようです。熱中症対策が本格的に必要なってきます。朝食をしっかりとること、睡眠をしっかりとること、そして、こまめな水分補給のために、水筒には多めにお茶等を入れていただくことなどご協力をお願いします。

1学期もあと1か月で終業式となります。子供たちが元気に学校生活を送ることができるよう、学校でも声掛けをしていきます。



長崎っ子の心を見つめる教育週間

女の都小学校では6月23日（月）から29日（日）までを「長崎っ子の心を見つめる教育週間」と設定し、すべての教育活動を公開します。16日（月）にteturuで時間割（予定）をお配りしていますので、ご来校の際のご参考にしてください。

また、教育週間の目的である「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図る」ために、教育週間中の25日（水）に全学級で道徳の授業（生命尊重、または生命尊重につながる内容）を公開します。これまでの教育週間では土曜授業日を設定していましたが、今年からは土曜授業を行わず、土日は「家庭の日」とします。

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」は、平成16年に始まり、長崎県内のすべての公立学校で実施されています。学校、家庭、地域住民が連携した取組を充実させることで、いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成を図ります。そのために、「いのちを大切にする心や思いやりの心の育成」「あこがれや将来への志の育成」「あいさつやマナーの向上」に取り組みます。

※ すべての学校で取り組む5項目

- ① 「命に関する講話」等を通して、かけがえのない命を大切にする心情を育む。
- ② 本教育週間の取組について、家庭、地域、関係機関等と連携して企画し、運営にあたる。
- ③ 「GIGAワークブックながさき」を活用した情報モラルの学びを通して相手の立場に立った言動などを大切にする心情を育む。
- ④ 話し合いや学びの場を通して、「いじめ（SNSによる誹謗中傷等を含む）はどんな理由があってもいけないことだ」という意識を育む。
- ⑤ 生命尊重等を題材とした「道徳の授業」を全学級で公開する。



家族・交流証言講話

教育週間期間内ではありませんが、6月20日（金）11時から、講話者として山崎年子さんをお招き家族・交流証言講話をしていただきます。山崎さんのお父様山口彊様は、広島と長崎で2度被爆しました。お父様と長崎で被爆したお母様とお兄様の被爆体験と被爆者家族として生きてきた体験を被爆二世の視点から話していただきます。被爆の実相、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さを学ぶ機会になると思います。

